

都内有数の公立進学校・都立有栖川高等学校、3年B組の教室。  
担任の寺本とクラス一の秀才・北島優斗が話しをしている。

寺本先生 (座りながら) あのさ、北島。こないだの進路希望調査なんだけど。

優斗 はい。

寺本先生 本気じゃないよな。

優斗 はい？

寺本先生 志望大学。なんだこれ。(進路希望調査票には「東京藝術大学・美術学部」と)

優斗 : 変えたんです。藝大、行こうかなって。

寺本先生 いや：厳しいって。冗談はよしこさんだって。

優斗 : ちよつと何言ってるか分からないっす。

寺本先生 ずっと医学部志望だったろ、1年の頃から。

優斗 だから、変わったんですよ。希望の進路が。

寺本先生 親には？言ってるないんだろ、どうせ。

優斗 これから言うつもりです。

寺本先生 イヤイヤ、開業医だろ、お前んち。しかも長男。4月の三者面談で、継が

せる気満々だったじゃん、お袋さん。

優斗 うちは、姉が継ぐと思いますよ。もう医学部3年だし、めっちゃ優秀なん

ですよ。

寺本先生 とにかく、こんなの「ハイそうですか」って訳に行かないから。もっぺん

ちゃんと考えてから、書いてこい。(進路調査票を突き返す。)

優斗 : ちゃんと考えました。生まれて初めて、ちゃんと考えて書いたんです。

寺本先生 :

優斗 2年の時の文化祭のポスター、僕、選ばれたじゃないですか。

寺本先生 覚えてるよ。

優斗 あれ、先生、どう思いました。

寺本先生 : いい絵だと思っただけ。

優斗 ですよね！文化祭のテーマと、うちの学校の特色と、季節感と、モチーフ

を決めて一枚の絵にイメージを落とし込む。無茶苦茶、クリエイティブな

作業で、ヤバいくらい頭使って描いたんですよ。友達もみんな、めっちゃ

褒めてくれて。僕、やっぱりこれだって思っただけ。